

# 幸せの心育てよう 2014/04/07

中 2 猪野 未晴

「幸せはいつも自分の心が決める」。先日、校長講話の中で、印象に残った言葉だ。

「幸せ」と感じることは人によって違い、「幸せ」にはたくさんの種類があると思う。私は日々の生活の中の小さなことから、「幸せだなあ」と思えるようになりたいと思った。そのためには、「幸せの心」を自分で育てる必要があるらしい。そして、その心を育むには「感謝の心」を持つことが大切なのだそうだ。

そう言われて考えてみると、毎日を過ごす中にも、たくさんあるのではないか。今までは、当たり前だと思っていたお弁当。母は仕事が忙しい中、きっと疲れもあるのに朝早く起きて、毎日欠かさず作ってくれる。

「今日は苦手なピーマンが入っている。いやだなあ」などと思ったこともあった。しかし、それはきっと栄養バランスを考えてのことだ。母からの愛情がこもっている。母に感謝。そして、そんなお弁当を食べることが出来る幸せ。

やはり、日常生活の中には、「幸せ」があふれているようだ。それを「当たり前」と思っで見逃すのは、とてももったいない。これからは、「感謝の心」を持って、もっともっと、「幸せの心」を育てていきたい。(伊佐市)

※ 投稿時は中学1年生でしたが、掲載が4月に入っていたため、本人の学年は中学2年生にしています。